

はまごう小だより

あいさつ えがお
挨拶と笑顔でつながろう！

伊勢市立浜郷小学校
令和3年7月20日
発行者 平生 理恵

第11号

☆夏休み前に、さまざまな活動がありましたので、紹介させていただきます。

全学年で食育を進めています。

城田小学校の今村栄養教諭さんが、兼務で浜郷小学校の児童にも食育を行って下さっています。

6月22日(火)には、「給食のひみつ」と題して、1年生が毎日いただいている給食はどんなものを使って、どのように作られているのかを教えてくださいました。学校では300人分あまりの給食を6人の給食調理士さんで作っていることを知り、子ども達は興味津々でした。

7月5日(月)には、2年生が「バランスの取れた食事」について教えてくださいました。食品には、体をつくるもとになる赤色の食品、エネルギーのもとになる黄色の食品、体の調子を整える緑の食品があり、毎日の給食はこの赤・黄・緑の食品がバランスよく使われていることを知りました。

7月13日(火)には、6年生が夏休みを目前にし、夏休みを健康に過ごすための学習をしました。

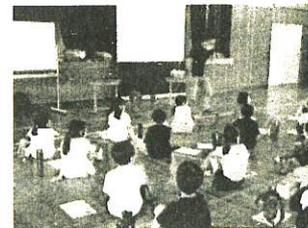
こうした学習をすることで、子ども達は食事の大切さを学び、好き嫌いをなく食べられるようになる子が増えていくのです。



昆虫博士に来ていただきました。

7月6日(火)、黒瀬町在住の昆虫博士、谷島賢樹先生に来ていただき、1年生から3年生の子ども達の為に昆虫教室をしていただきました。谷島先生は、昨年度こそコロナのことを心配して来校を控えていただきましたが、約10年間、毎年浜郷小学校に来ていただき、カブトムシやクワガタについていろいろ教えてもらっています。子ども達の中には虫に触れる機会が少ないため、必要以上に怖がったり、触ることができなかつたりする子がいます。また、虫は大好きではあるけれど、正しい飼い方が分からず、弱らせてしまったり死なせてしまったりすることもあります。持ち方によって、人間の体温でやけどをさせてしまうこともあると聞き、子ども達は真剣な顔つきで、谷島先生の話聞いていました。谷島先生が子ども達に作って下さったプリントは、「ぼくたちはこういう食べものが好きです。」といったように虫目線で書かれていて、カブトムシやクワガタへの愛情が感じられました。

明日から夏休みですが、この機会に虫の飼育にチャレンジする子が増えるのではないのでしょうか。



租税教室を行いました。

税



7月5日(火)、市役所の課税課の松井さんに来ていただいて、6年生が税について教えていただきました。「税金にはどんな種類があるか知っていますか?」という問いかけに対して、所得税、法人税、消費税、自動車税、住民税等々、子ども達はいろいろな税金を知っていました。そして、「もしも税金がなかったら…」ということをもとに、いろいろな事例を聞かせてもらいました。「救急車や消防車も税金によって賄われているから、無料で呼ぶことができるのです。皆さんが使っている教科書も同じようにお家の方が納めて下さっている税金で作られているので無料でくばられているのですよ。」と話され、「でも、もしも税金がなかったらどうなるでしょう。」問われると、子ども達からは、「税金がなかったら大変なことになるなあ…」というつぶやきが聞こえてきました。社会の学習で、国民の3大義務を学んでいた子ども達は、『納税の義務』についての必要性をしっかりと感じたようでした。

最後には、お金の重さを実感するために、松井さんが持ってきて下さった3億円入りのアタッシュケースを持たせてもらいました。もちろんアタッシュケースの中身は『見本』と書かれたものでしたが、ちょっぴり豊かな気分になりました。

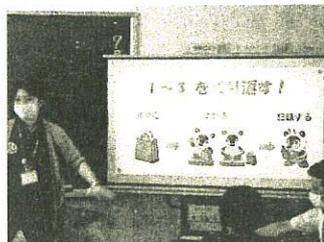


『雑紙チャレンジ』に取り組もう!!

7月14日(水)、伊勢市のごみ減量課の方に来ていただいて、『雑紙チャレンジ』についてのお話を聞かせていただきました。『雑紙チャレンジ』とは、現在捨てられているごみを資源に変える取組の一つです。私たちが普段ごみとして捨てているものの中には、リサイクルすることでまた新たに私たちにとって必要なものに変えることができるものが多くあります。そこで、浜郷小学校では、社会でごみの勉強をする4年生の児童を対象に、身近にある紙ゴミを正しく分別して、ごみを減らし資源を有効に使う取組を行うことにしました。資源としてリサイクルしてもらえる『雑紙』とはどのようなものなのかを、いろいろな例を出して教えていただき、改めて自分たちがいかに資源となるものを沢山ごみとして出していたかということに気付きました。さらに、自分たちが集めた雑紙の量によって、1キロあたりトイレットペーパーを3個いただけるという子ども達は「頑張って集めよう!!」と気持ちを強めたようでした。まずは、夏休みの間、この『雑紙チャレンジ』に取り組んでもらいますが、この事をきっかけに、私達も改めてごみを減らし、資源ごみ回収を強化しようと思っています。



さて、どのくらい集めることができるでしょうか。4年生の皆さん頑張って下さいね。



ほっと
一息!



『ステキなチケット!』

「4年生の子から預かりました。」と、右のようなチケットが机の上に置かれていました。子ども達は、普段からいろいろなお手伝いをしてくれます。夏休みはお家でも沢山お手伝いしてくれることだと思います♪

